

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日					
コベルプラス川越教室		2026年 10月 1日					
		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1	ソーシャルレッスンのサーキット内容を分けて実施している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	0	・毎日の清掃・消毒を実施し、お子様が安心して過ごせる清潔な環境づくりに努めています。 ・エアコンフィルターについても、職員による定期的な清掃を実施し、衛生管理を行っています。 ・限られた空間の中でも、安全に活動できるよう教材や備品の配置を工夫し、活動内容や利用人数に応じて環境を調整しています。	・エアコン内部の専門的な清掃については、費用面も踏まえながら計画的な実施を検討していきます。 ・プレイルームの広さについて、構造上空間を拡張することは困難ですが、活動内容を工夫し、より快適で活動しやすい環境づくりを継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	0	クールダウンが必要だと判断した場合には、別教室や相談室の使用をご案内しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	モニタリングの為のカンファレンスや個別支援計画原案作成時のサービス担当者会議はもちろんのこと、日々の療育でもPDCAサイクルを意識した話し合いを実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	1	年1回必ず保護者様に評価表アンケートにご協力いただき、いただいた意見を基に業務改善に努めています。	今年度の評価表に関しまして、集計後にミーティングを実施し、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	職員同士で意見やアイデアを出し合うミーティングを定期的に行っており、積極的に意見交換を行っています。また、必要に応じて業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	1	法人主催の研修や事業所内研修を通して、職員の専門性や支援の質の向上に努めています。また、必要に応じて研修内容の共有や振り返りを行い、日々の支援に活かせるよう取り組んでいます。	法人研修について、研修量が多いとの意見がありました。研修は職員の資質向上のために重要である一方、業務とのバランスにも配慮する必要があります。今後も研修内容や実施方法について法人へ意見を共有し、より効果的に学べる環境づくりにつながるよう努めていきます。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	個別支援計画原案を基に指導員全員でミーティングを行い、お子様のニーズに沿った計画の作成を心掛けています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	個別支援計画の課題項目は、最優先に実施する課題として共通認識を持っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0	クラウド型（ICT）記録システム等を使用して、情報共有を丁寧に行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	1	お子様一人ひとりの障害特性や発達段階に応じた活動内容となるよう、ミーティングを通して支援方法や教材の工夫について検討し、より効果的な支援につなげています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	1	毎月活動プログラムの変更を行っています。また、保護者様の要望にも応えられるよう臨機応変に対応しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	1	特に、個別レッスンと小集団レッスンの両方を利用されているお子様については、それぞれの場面に応じた目標を設定し、ねらいや支援方法を工夫することで、多面的な成長につなげるよう取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	毎回の支援内容やお子様様子を記録し、職員間で情報共有を行っています。また、記録を基に支援の振り返りやミーティングを実施し、お子様の成長や課題に応じて支援方法の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	1	就学時に限らず、お子様やご家族のニーズに応じて、関係機関との情報共有や相談援助を行い、継続した連携に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5	1		支援の質のさらなる向上を図るため、必要に応じて地域の児童発達支援センターとの連携を進め、スーパーバイズや助言を受けられる体制づくりを検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	1	日常的な交流活動は実施していませんが、夏祭りなどのイベントを開催し、地域のお子様にも参加していただける機会を設けることで、地域とのつながりを大切にしています。	利用児童の安全確保や個人情報保護の観点から、実施方法を慎重に検討する必要がありますが、今後も安全面に十分配慮しながら、地域との交流機会を設けられる方法について検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	0	毎月ペアレント・トレーニングのテーマを設定し、子育てや発達に関する情報の掲示・周知を行うとともに、希望されるご家族を対象に実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	1		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0	
	38	定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	保護者様が療育をご見学されている時間を活用し、日頃の悩みやご不安を伺いながら、助言や相談援助を行っています。また、児童発達支援管理責任者だけでなく、指導員全員が相談に対応できる体制を整え、ご家族が安心して相談できる環境づくりに努めています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	1	毎年9月に保護者会を開催し、卒所されたお子様の保護者様にもご参加いただくことで、子育てや就学に関する情報交換や交流ができる機会を設けています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	1	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	ホームページはもちろんのこと、クラウド型（ICT）記録システムやLINE・Instagramを利用して、コミュニティ等の行事予定や来月の空き状況等を定期的に発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	1	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	1	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	1	夏祭りなどのイベント開催時には、地域の方々にもご参加いただけるようご案内し、地域に開かれた事業所づくりに取り組んでいます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	1	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	1	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	1	初回利用時（体験時）からアレルギーの有無を確認し、お子様一人ひとりの状況に応じて適切に対応しています。特に、小麦粘土を使用する活動があるため、小麦アレルギーの有無は必ず確認し、該当するお子様には代替教材を使用するなど、安全に活動へ参加できるよう配慮しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	0	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	1	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	日々の支援の中で気付いた小さな違和感や気になる事象についても職員間で情報共有を行い、必要に応じてヒヤリ・ハット事例としてミーティングで検討しています。原因の分析や再発防止策を共有し、安全な支援の実施に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	1	